

火薬類の保安

平成30年3月
 関東東北産業保安監督部
 東北支部保安課

平成29年火薬類事故(東北管内分)の発生状況について

平成29年に東北管内において火薬類取締法施行規則第82条第1項の規定に該当する詳報対象の事故が7件発生しました。

事故を種類別に見ると、産業火薬が2件、煙火が5件となっており、その概要は次表のとおりです。

■東北管内の事故情報

○平成29年火薬類事故の概要(東北管内分)

	発生日時	発生場所	種類	死	傷	事故概要
1	2月27日 8:50頃	宮城県 石巻市	産業火薬	0	1	用材採取用の粘板岩を上下に割るため、水平に穿孔し、その孔内にビニール袋に入れた黒色火薬及び導火線を入れ、砂利(5mm未満)による詰め物を行い、真鍮製の詰め棒で突き固めをしていたところ爆発したものの。
2	3月20日 14:26頃	山形県 東根市	がん具煙火	0	0	空港内にて、離着陸する旅客機への鳥類によるエンジン吸い込み事故防止のため、鳥類駆除を目的として実施の玩具用煙火による威嚇駆除作業実施時に、滑走路横緩衝緑地から発煙を確認。威嚇駆除に使用の玩具用煙火による残り火が下草に引火したものと推測。
3	5月25日 5:40頃	宮城県 気仙沼市	がん具煙火	0	1	自宅二階から、野鳥(カラス)駆除のため、玩具用煙火(笛音鳴ロケット花火)三発に点火し飛翔させたところ、二発の飛翔は現認したものの、残り一発を見失い、飛翔を確認せず階下に降りた後、二階から燃焼音が聞こえ火災を確認。自宅および隣接する倉庫を全焼。当人も消火の際煙を吸い。軽傷(気道熱傷・中等症)受傷。
4	5月29日 15:40頃	福島県 いわき市	産業火薬	1	0	採石切羽にて発破作業中、退避していた重機の運転席に、発破にて発生した飛び石が飛来。運転席にて待機していたり災者腹部に当たりり災。急行したドクターヘリによる救急処置後、陸送にて救急搬送。後、病院にて死亡。
5	7月30日 19:52頃	山形県 新庄市	煙火	0	2	花火大会中、消費のために点火したスターマイン打揚げ筒の集合体で筒ばねが発生。これを契機として他の筒内で煙火玉が地上開発。この開発により破損した発射筒の破片が、当時点火作業に当たっていた点火従事者2名に飛来。発射筒の破片が点火従事者に当たりり災。
6	8月5日 20:00頃	宮城県 仙台市	煙火	0	0	花火大会実施中、消費中の煙火(3号玉 電気点火方式:発射筒:グラスファイバー製)の1発が開発予定高度以下での開発を確認。大会終了後の発射筒等設備確認時、発射筒1本の破損を確認したものの。
7	8月26日 19:48頃	宮城県 仙台市	煙火	0	0	花火大会実施中、大会に消費の煙火の内、3号玉(電気点火方式:グラスファイバー製発射筒5本組)について、5本中3本の発射筒の破損が、大会終了後会場確認中の消防職員により確認されたものの。

注)「死」は死亡事故、「傷」は重傷、軽傷の人数。